

## 個別の指導計画を作成するために

- 特別な支援を必要とする児童生徒への対応 -

平成20年3月

徳島県立総合教育センター

## 目 次

1. 個別の指導計画作成のメリット -----	1
2. 長期目標を立てる -----	2
3. 短期目標は具体的に書く -----	3
4. 指導の手だてを考える -----	4
5. 評価 -----	5
6. もし、指導がうまくいかなかったら -----	6
7. 指導の手だてをグレードアップするには -----	7
8. 個別の指導計画シート記入例 -----	8

### パンフレットの作成にあたって

平成18年6月、特別支援教育を推進するため学校教育法が改正され、平成19年4月から施行されています。この法改正の重要なポイントの一つは、幼稚園、小・中・高等学校の「通常の学級において特別支援教育を推進すること」を明確に規定したことです。

本県においては、すべての公立幼稚園、小・中学校・高等学校、特別支援学校において特別支援教育コーディネーターを指名し、研修会を実施する等、特別支援教育の充実に取り組んできました。

平成19年3月には、これまでの研修内容を再確認するとともに、特別支援教育の一層の充実を図るため、パンフレット「LD・ADHD・高機能自閉症等に関する理解と特別な支援を必要とする生徒への対応」を作成し、すべての幼稚園・学校に配付しました。このパンフレットは、校内研修会等での活用を想定して作成しており、「発達障害の理解」と「具体的な対応」で構成し、具体的な対応として、授業の工夫、個別の指導計画作成、不適切な行動への対応、の3点を示しています。

この度、上記の「具体的な対応」の中でも特に重要であると考えられる「個別の指導計画作成」について、より詳細なパンフレットを作成しました。本パンフレットは個別の指導計画作成手順に沿った内容となっていますので、前述のパンフレットと同様に、ぜひ校内研修会等で活用していただければと思います。

特別な支援を必要とする児童生徒が、主体的に生き生きとした学校生活を送ることができるよう、個別の指導計画作成して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導及び支援を行うことが求められています。本パンフレットが、その一助となれば幸いです。

#### 【このパンフレットで使用しているマークの説明】



----- 基本のポイント：必ず知っておきましょう



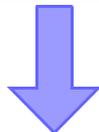
----- 応用のポイント：ステップアップのためのアイデアです。

# 1. 個別の指導計画作成のメリット



個別の指導計画は、校内委員会のメンバーや特別支援教育コーディネーターなどと一緒にチームで作成してみましょう。

個別の指導計画作成すると



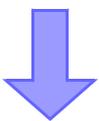
教師が変わります

その子の言動を注意深く見るようになった。

その子に対して、どう声をかければよいかわかるようになった。

学習や指導の経過を振り返り、教材や指導方法を見直すことができた。

他の子に対しても、工夫して配慮をするようになった。



学級が変わります

教材の工夫は、他の子どもの理解を深める上でも、大変有効であった。

その子にとって分かりやすい授業は、  
クラス全体にとって分かりやすい授業であった。

その子に対する教師の支援は、他の子にとってモデルとなり、  
クラスメイトとして、お互いに助け合う気持ちが強くなった。



## 2. 長期目標を立てる



長期目標の設定が難しいときは、短期目標の設定から始めてみましょう。

### 長期目標設定のポイント

実態把握から本人が困っていることの解決を優先して目標を決める。

他の領域や教科との関連性を考慮する。

将来につながるような目標を設定する。

日常生活・社会自立といったことに配慮する。

本人と家族のニーズを考慮する。

立てた目標について他の人の意見を聞く。

\*「長期目標」は、1年後こうなっているだろうという姿をイメージして作りましょう。



・「他の人の意見を聞くこと」は意識の向きにくい項目です。  
 ・自分の実践について同僚との話し合いを持ち、他者からの意見を聞いて自分の計画をフィードバックすることは大切です。  
 ・自分が立てた目標が適切かどうか分かります。  
 ・考えを明確化したり、修正したりする機会を得られます。

### 長期目標は指導の方向性がわかるように書く

#### 「領域」の視点で書いた例

- < 基本的な生活習慣 >
- ・一人で着替えたり、トイレに行ったりできる。
- < 健康 >
- ・健康に気をつけ生活リズムを整える。
- < 行動 >
- ・学校で落ち着いて活動することができる。
- < 運動技能 >
- ・みんなと一緒に歩く、走る等基本の運動ができる。
- < 集団参加 >
- ・友だちと一緒に学校行事や学級活動に参加できる。
- < 学習 >
- ・漢字の読み書きや基本的な計算ができる。
- < コミュニケーション >
- ・人との基本的なやりとりができる。

#### 「教科」の視点で書いた例

- < 読むこと >
- ・ことばの意味を知る。
- ・書かれている文章の内容を理解する。
- ・文章を読む際、読み飛ばさないよう指でたどりながら読むなどのスキルをテスト場面で応用する。
- < 書くこと >
- ・書く際の手順を知る。
- ・文法的なルールを理解する。
- < 算数・数学 >
- ・算数に出てくる用語や記号の意味を知る。
- ・概念やプロセスを理解する。
- ・概念やプロセスを実際の場面で活用する。



・「領域」の視点のメリット：発達領域ごとに目標を書くので、全体的な発達のとらえや活動の設定がしやすい。指導内容や方法の選定もしやすい。  
 ・「教科」の視点のメリット：各教科の内容（時間割）に対応して目標や指導内容を設定するため、目標と授業とを対応させやすい。  
 ・この2つのタイプのメリットを考慮して、学校独自の書式をつくっていきましょう。

#### 【シート記入例】

長期目標	習った漢字を作文の中で使用することができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
	「長期目標」でよく使われる語 …知る、…理解する …応用する、…使用するなどです。		

### 3. 短期目標は具体的に書く

#### 短期目標を具体的に書くための3つのポイント



抽象的で曖昧に設定されてしまった短期目標は、長期目標にあてはまることもあるので、合わせて長期目標も見直しましょう。

\*「短期目標」は、かなり具体的であり、学期や月、単元終了までなど短いスパンで立てる目標です。

#### 指導目標が達成できたかどうか客観的に分かるような「動詞」を使うこと

× 不適切な短期目標（例）	適切な短期目標（例）
・ディズニーランドなどへ行くことがわかり、見通しを持って修学旅行を楽しむ。	・「旅行で何が楽しみですか」という質問に、実際に訪れる予定先から答えられる。
・簡単なかけ算がわかる。	・九九カードを使い、かけ算をすることができる。
・友だちとの適切なつきあい方を <u>知る</u> 。	・友だちに誘われたとき「また今度にするよ」などと言って断ることができる。



「～がわかる」「～を理解する」「～を感じる」「～を知る」「～を楽しむ」「～を親しむ」などの動詞は、達成したかどうか客観的に分かりません。



「～する」「～ができる」「～と言う」「～を選ぶ」「～と書く」などの動詞を用いると、達成したかどうか客観的に評価しやすくなります。

#### 応用範囲が広い行動の指導目標に関しては、場面をいくつか限定する

× 不適切な短期目標（例）	適切な短期目標（例）
・小集団で活動する。	・ホームルームの時間に着席し、自分の名前を呼ばれたら返事をして、自分の意見を言う。
・係の仕事をやり遂げる。	・体育の時間に「ピンクのコーン」の写真カードを渡すと、倉庫からピンクのコーンを4個取ってきてマークを付けた場所に置くことができる。



「条件」:「～したとき」「～の支援があるとき」など、いつ、どんなときの目標なのか？



「基準」:「8割以上」「～分間の」などの達成の基準。

#### 指導目標に「条件」や「基準」を設定する

× 不適切な短期目標（例）	適切な短期目標（例）
・ひとりで授業の準備をする。	・教師の声かけがあれば、授業に必要なものを <u>ひとりで1分程度</u> で机に出すことができる。

#### 【シート記入例】

長期目標	習った漢字を作文の中で使用することができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
・漢字テストでは毎回10問中7問正答する。		国語	



指導する場面を決めておくことは重要です。

- ・どの教科？
- ・どの活動？（遠足、運動会など）
- ・どのような場面？（給食、休み時間など）



「短期目標が ×で評価できるように書かれているか？」は、大切な視点です。 ×で評価できるように短期目標を設定すると、目標行動が具体的にになり、指導や支援の方法も明確になります。

## 4. 指導の手だてを考える

指導の手だてには、何を書くべきか？

- ・指導の手だてとは、短期目標を達成するために教師が行う指導や支援の方法を記述したものです。
- ・指導の手だての主語は、教師でなければなりません。



### 指導の手だて作成のポイント



児童生徒が目標を達成するために必要な「指導の手だて」をチェックすることは大切です。

短期目標（例）	指導の手だて（例）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「口頭のルール説明で、…」</li> <li>・「複数の指示が出されたときに、…」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「短い言葉で言う」</li> <li>・「番号をつけて指示を伝える」</li> </ul>	従来の言語的な指示の出し方に何か工夫する必要はないか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「黒板に書かれた指示を読んで、…」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「板書の量を少なくする」</li> <li>・「算数文章題を図を使って説明する」</li> </ul>	指示する際、視覚的な提示や教材の工夫をする必要はないか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教師が折り紙を折るのを見て、…」</li> <li>・「他の児童が発表するのを見て、…」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「折り紙の表裏をはっきりと見せる」</li> <li>・「発表用ワークシートを用意する」</li> </ul>	デモンストレーションについて工夫する必要はないか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マス目用紙が与えられた時、…」</li> <li>・「4年生相当の文章題が与えられたとき、…」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マス目の大きな用紙を用意する」</li> <li>・「下学年の文章題も用意する」</li> </ul>	ツール（道具）や教材に関する工夫はどうか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小グループでの活動において、…」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ペアで学習を行う」</li> <li>・「注意が拡散しないような部屋で行う」</li> </ul>	教室の環境設定について工夫する必要はないか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「隣で教師が教科書の内容を読むのを聞いて、…」</li> <li>・「教師が声かけをしたとき、…」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「漢字に読みがなをふる」</li> <li>・「できたときには、すぐに評価する」</li> </ul>	支援の仕方に関する工夫はどうか？

#### 【シート記入例】

長期目標	習った漢字を作文の中で使用することができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字テストでは毎回10問中7問正答する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスの大きな練習プリントを用意する。</li> <li>・4年生の新出漢字の内50字から出題する。</li> <li>・練習プリントに保護者のチェック欄を設けてもらう。</li> </ul>	国語	



指導の手だてを詳しく書くと、引き継ぎ資料としての価値が高まります。



どうしてもうまく指導が思い浮かばないときは、その子の「学習スタイル」から考える方法もあります(7頁参照)。

## 5. 評価

具体的な指導目標，指導の手だてがあると，日々の記録をもとに客観的な評価ができます

### 記録の取り方

文章で記述する

・児童生徒の取り組んでいる様子や，誤答パターンなどの記録をする。何ができて，どんな課題が難しかったのか把握する。

数えたり測ったりする

・達成基準を意識した数値的な記録(回数や達成率等)を取る。

・記述による評価と数値的な評価には，それぞれの特徴があります。両者の良さを活かした評価を行いましょう。

### 評価のポイント



指導目標を具体的に明記して指導方法が詳しく書いてあれば，評価に関しては，「」「」「」でも済むようになります。

#### 指導目標に対応した評価をしよう！

短期目標	× 不適切な評価(例)	適切な評価(例)
・廊下の雑巾がけを3往復する。	・最初，洗面台を掃除していたが，水や洗剤の量などが調節しにくく，水浸しになることもあったので，廊下拭きに変えたが，作業がわかりやすいこともあり意欲的にできた。	・「廊下，ぞうきん，3回お願いします」という声かけのみで，3往復の雑巾がけをすることができた。

#### 客観的な評価をしよう！

短期目標	× 不適切な評価(例)	適切な評価(例)
・教室の自分のロッカーに道具を片づけることができる。	・場所を間違えることもあったが，教師の指示で一応片づけることができた。	・わかりやすい場所(最上段の左端)を用意することで，100%自分のロッカーに片づけることができた。



「ほぼ」「一応」「だいたい」「あまり～できなかった」という表現は避けましょう。

#### 【シート記入例】

長期目標	習った漢字を作文の中で使用することができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
・漢字テストでは毎回10問中7問正答する。	・マスの大きな練習プリントを用意する。 ・4年生の新出漢字の内の50字から出題する。 ・練習プリントに保護者のチェック欄を...	国語	・全部で16回行った。毎回10問中8問以上を正答することができた。



・「自分の考えた目標や指導の手だてが適切であったか振り返る」ことも意識の向きにくい視点です。  
・教師自身が自分自身の特徴(教え方，教材の作り方，教室環境の準備など)について振り返ることで，より適切で効果的な指導や支援へと改善することができます。

## 6. もし、指導がうまくいかなかったら

### 計画を見直すポイント

#### 3頁・4頁に戻る

- ・「短期目標」を見直す
- ・「指導の手だて」をチェックする

#### それでもうまくいかないとき

- ・「指導がうまくいかない原因をいくつか考える」
- ・「原因に対応した解決策(手だての修正案)を考える」
- ・「成功しそうな解決策を選び、手だてを修正する」

### 指導上の問題：「コンパスの正しい使い方を教えようとすると大声をあげる」

短期目標	指導の手立て	指導場面
・手順書「コンパスの使い方」を見て、半径3cmの円を描くことができる。	・個別に声かけをする。 ・手を添えてコンパスの動かし方を確認する。	算数



問題の原因を1つだけでなく、いくつか考えることが重要です。解決のアイデアが出やすくなり、解決の可能性が高まります。

うまくいかない!



1つの原因にいくつかの解決策が考えられる場合があります。

#### 原因の推定

#### 対応する解決策

(1) 先生が注目してくれるから

(1) 大声を上げて注目せず、コンパスを正しく使っている時、注目する。

(2) コンパスの操作が難しいから

(2) コンパス以外の教材を使う。  
(2) 課題を簡単にして、できたらほめるようにする。  
(2) 「コンパスがうまく使えません」と言えるように教える。

(3) 後ろから触れられるのが嫌だから

(3) 前方から手を添えるようにする。

(4) 言葉の指示がわかりにくいから

(4) 絵で正しい使い方を示す。  
(4) 正しい使い方の手本を見せる。



推定した原因の中には、解決策の出にくい「適切でない原因」が含まれることがよくあります。その例として、「親の育て方、しつけが悪いから」、「心を閉ざしているから」、「障害があるから」などが考えられます。

### 成功しそうな解決策を選び、手だてを修正

短期目標	指導の手立て	指導場面
・手順書「コンパスの使い方」を見て、半径3cmの円を描くことができる。	・個人用のイラストを用いた手順書を用意する。 ・補助するときは本人の前方から近づき、指さしで指示する。 ・できたときはすぐに評価する。	算数

改善OK! 後は実際にうまくいかどうか確かめてみましょう。

## 7. 指導の手だてをグレードアップするには

子どもの得意な学習スタイルを知ることによって、指導の手だては見えやすくなります

- ・「ことばで言ってもらえると理解できる」という人、「絵で描いてもらうとわかる」という人、いろいろなタイプの人があります。
- ・児童生徒の個々の理解のスタイルに配慮して、指導の手だてを考えてみましょう。



### 代表的な2つの学習スタイル



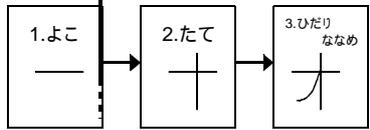
児童生徒の得意なタイプの予想がつくときは、例えば「指示の理解は得意なのか」などと、そのスタイルにあったやり方を探してみましょう。



支援の第一歩として、この2つの学習スタイルから考えて、合わない場合はその都度調整していき、よりフィットした支援にチャレンジしてみましょう。

	 耳からの学習が得意なタイプ	 目で見たり、実際に触れたりして学習するのが得意なタイプ
計画の仕方	・事前に計画を立てる ・リストを作る	・体験から入る
記憶の仕方	・聴いたことについての記憶は得意	・見たこと、経験したことの記憶は得意
理解しやすい指示の方法	・一つ一つ指示を提示されるとわかりやすい 【例】物語を理解するとき、あらすじにそって説明する 【例】みそ汁をレシピの順番通りに作る	・最初に、全体像を見せられるとわかりやすい 【例】登場人物の関係図を見ながら説明する 【例】みそ汁の完成メニューを見て、素材を確認してから作る

#### 【シート記入例】

長期目標	 1年生の新出漢字の読み書きができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	
・1～4画の漢字を書くことができる。	・書き順カードを1枚ずつ見せ、「1よこ」「2たて」などと書き順を強調し、書くときの運動の方向を聴覚的、言語的な手がかりで覚えるようにする。 ・カードを順番に重ねていくと漢字ができるカードを用意する。	国語	

長期目標	 1年生の新出漢字の読み書きができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	
・1～4画の漢字を書くことができる。	・漢字絵カードを見せ「水が流れている様子を表しているね」などと視覚的な手がかりで漢字の形をイメージできるような説明をする。 ・漢字の形をおおまかな線で示した漢字練習プリントを用意する。	国語	



- ・子どもの「つまずきや苦手な面」ばかりに意識が向き、その子の「強い力（得意な学習スタイル）を利用すること」を忘れていませんか？
- ・つまずきのある子どもに対しては、得意な面をとらえることは重要であり、こうした配慮が、ひいては学級全体の子どもへの配慮にもつながります。

## 8. 個別の指導計画シート記入例 (裏表紙をコピーして書いてみましょう)

氏名	Aさん	記入日	
長期目標	教室で着席して活動に取り組むことができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室で学習に15分間取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の課題を用意する。</li> <li>・自分で選択できるように複数の課題(ワークシート等)を準備する。</li> <li>・得意な内容(計算, 漢字問題等)を多くしたり, 問題数を減らしたりする。</li> </ul>	国語 算数(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の時間は, 時々席を立つこともあったが10分間は落ち着いて課題に取り組んだ。</li> <li>・算数(数学)の時間は, 得意な計算を多く入れると15分間 落ち着いてプリント学習に取り組むことができた。</li> </ul>

・具体的に書く。  
・数値的な評価を見据える。  
・文末の表現は「～できる」。  
【3頁参照】

・具体的な活動, 教科名, 場面などを書く。  
【3頁参照】

氏名	Bさん	記入日	
長期目標	人との基本的なやりとりができる。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だち同士の会話にうまく入ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ねえちょっと」「今いい?」など声かけの具体的な方法を教える。</li> <li>・話し合い活動の時は, ルールを決めておく。(手を挙げてから話す, 話す時間は 分以内, 尋ねられて分からない時は, 「分かりません」と言うなど)</li> </ul>	休み時間 話し合い活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ねえちょっと」「今いい?」などと声かけをしてから友だちに話す回数が増えてきた。</li> <li>・話し合い活動では, 突然話し始めることや自分一人で一方的に長い時間(分以上)話すことが減ってきた。</li> </ul>

・指導の手だての主語は教師。  
【4頁参照】  
・本人の得意な能力に視点をあてる。  
【7頁参照】

・課題が通過したかどうかを明確にする。  
・数値的に評価できる場合はその数値を書く。  
【5頁参照】

氏名	Cさん	記入日	
長期目標	友だちと一緒に学校行事に参加するためのルールを理解する。		
短期目標	指導の手立て	指導場面	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の順番や出番を椅子に座って静かに待つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順番や出番がいつ頃になるか書いて示す。</li> <li>・待てなくなったとき「トイレに行ってきます」と席を立ち, 気分転換できるようにする。</li> <li>・待つ時間に静かにできる課題を用意する。</li> </ul>	体育祭 文化祭 始業式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育祭の時, 10分前に待機場所に行くと順番や出番まで静かに待つことができた。</li> <li>・好きな音楽を聞きながらであれば静かに待つことができた。</li> <li>・終業式の時, 「トイレ」に行くなど気分転換をすると30分間着席して待つことができた。</li> </ul>



### 障害特性に応じた目標や手だてを考えたときの視点

- ・LD(学習障害): 聞く, 話す, 読む, 書く, 計算する, 推論することに対して目標や手だてを考える。
- ・ADHD(注意欠陥/多動性障害): 不注意, 多動性, 衝動性に対して目標や手だてを考える。
- ・高機能自閉症やアスペルガー障害: コミュニケーション, 対人関係, 言葉の遅れ, こだわり, 感覚の過敏性に対して目標や手だてを考える。
- ・学習の遅れ: 全教科, 日常生活の中で, 子どもの生活に影響が大きい分野を選び, 目標や手だてを考える。

氏 名		記入日	
-----	--	-----	--

長期目標			
短期目標	指導の手立て	指導場面	評 価

長期目標			
短期目標	指導の手立て	指導場面	評 価

長期目標			
短期目標	指導の手立て	指導場面	評 価

# 文 献

- ( 1 ) 海津亜希子(2007)：個別の指導計画作成ハンドブック LD等，学習のつまずきへのハイクオリティな支援．日本文化科学社．
- ( 2 ) 関西障害児教育研究会(2007)：「個別の教育支援計画」実践から考える実例集．明治図書．
- ( 3 ) 黒川君江ほか(2007)：特別支援教育早わかり．小学館．
- ( 4 ) 島宗理(2003)：個別の指導計画を応用行動分析的に書くためのマニュアルVer2003．  
(<http://abanet.ddo.jp/simamune/contents/IEP-manual.pdf> より引用)
- ( 5 ) 柘植雅義監修(2007)：教育的ニーズに応じた指導・支援．名古屋の特別支援教育を推進する会．
- ( 6 ) 廣瀬由美子・佐藤克敏(2006)：通常の学級担任がつくる個別の指導計画．東洋館出版社．
- ( 7 ) 藤田和弘ほか(2000)：長所活用型指導で子どもが変わるpart2．図書文化．
- ( 8 ) 三浦光哉(2007)：必携・特別支援教育コーディネーター．クリエイツかもがわ．
- ( 9 ) 三浦光哉(2003)：個別の指導計画における書式モデルの類型化と活用するための改善策-全国的障害附属養護学校の調査を通して-．発達障害研究，24(4)．

---

## 個別の指導計画を作成するために - 特別な支援を必要とする児童生徒への対応 -

平成20年3月発行

徳島県立総合教育センター

〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷1-7 088-672-5200

E-mail : tokubetsushien@mt.tokushima-ec.ed.jp

徳島県教育委員会特別支援教育課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 088-621-3151

E-mail : tokubetsushienkyouikuka@pref.tokushima.lg.jp

---

このパンフレットは，文部科学省「平成19年度特別支援教育体制推進事業」により作成しました。